

# 事業別の概況

## ■売上概況

### ●電子事業

DC-DCコンバータは、厳しい市場環境のなか、POL (Point-of-load) 用のSenpaiシリーズが伸長し、前年同期を上回りました。圧電部品は、デジタル一眼レフカメラ用が堅調に推移し、前年同期並を確保いたしました。コイルデバイスは、自動車用トランスが伸長しましたが、液晶ディスプレイ用トランスが減少し、前年同期を下回りました。積層チップパワーインダクタは、国内携帯電話などの市場低迷の影響により、前年同期を下回りました。光通信用部品は、光海底ケーブル敷設の減少と価格下落の影響を受け、前年同期を下回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、中国で液晶テレビが増加傾向にあるものの、その他の国では需要が回復せず大きく下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前期に行なったステップモータ事業の譲渡などによる売上減少の影響も加わり、前年同期に比べ40.1%減の200億19百万円となりました。

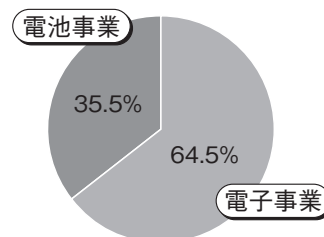
### ●電池事業

当事業の主力製品であるアルカリ乾電池は、富士通アルカリ乾電池「G.D.Rシリーズ」を中心として拡販活動に努めましたが、前期より続く景気減速の影響を受け、前年同期を下

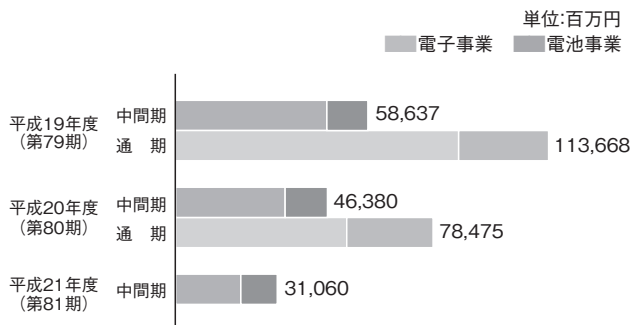
回りました。リチウム電池は、欧州向けで、煙探知機用の受注を新たに獲得したことなどにより前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ14.7%減の110億40百万円となりました。

## ■売上高構成比率



## ■売上高



DC-DCコンバータ



圧電部品



コイルデバイス



リチウム電池